

# Rotary Club of AMA weekly report.



2017~2018年度  
国際ロータリーテーマ

ロータリー  
変化をもたらす

事務所 〒453-0015 名古屋市中村区椿町17番16号 丸元ビル  
TEL(052)451-6617 FAX(052)451-6710 e-mail:kk01-ama@eos.ocn.ne.jp



2017~2018年度  
R1会長 イアン・ライズリー  
第2760地区ガバナー 神野 重行  
会長 立松 絹久  
副会長 山田 尊久  
幹事 田邊 正紀

例会日 毎週月曜  
例会場 名鉄グランドホテル

【会報委員会】  
委員長 北澤 英一・山田 広明  
後藤 雅光・木下 章吉  
光岡 朗・山田 幸治

## 2017年9月11日（曇り） 第2週 第2207回例会

Song ” 日も風も星も ”

Visitor 中野 智君（名古屋南RC）

### Attendance

会員	79名	欠席	17名	出席率	73.02%
----	-----	----	-----	-----	--------

### 8月分修正出席率の報告

8月7日出席率	100%	欠席	0名
8月21日出席率	100%	欠席	0名
8月28日出席率	100%	欠席	0名

President Time 立松絹久 会長



皆様、こんにちは。ビジターの皆様、ようこそあまRCの例会にお越しくださいました。ごゆっくりお過ごしください。朝晩涼しくなってきましたが、体調には充分ご留意いただけたらと思います。

本日の卓話は、大西環境保全委員長の担当で、蟹江町ホテルの会の牧田会長にお話をいただくことになりました。地域で活動していらっしゃる皆様のお話をお聞きしあまクラブとしても地域と密着した活動が出来たらと考えております。牧田会長、本日はよろしくお願いいたします。

先週の例会の後、18階アイリスにて栗木パスト会長を中

心とする会員増強チームのIDMが開催され、参加させていただきました。50周年までに100名を打ち上げられた栗木パスト会長の熱意とメンバーの方々の真剣さが感じられ、とても有意義なIDMだったと思っております。ぜひとも、この熱意をクラブ全体で共有出来たら、50周年・会員100名も可能ではないかと考えています。会員増強委員会の皆様には負担が大きくなると思いますが、何卒よろしくお願いいたします。

本日、深夜からブータンへの支援活動に行っております。ブータンは「国民総幸福量」という概念を提唱していることで有名ですが、世界の最貧国のひとつで所得やGDPのような尺度では下位にランクされています。美しい自然と仏教文化の中で、経済的には決して豊かではないけれど幸福に暮らす素朴な人々…。そんなイメージで語られることが多いようです。ブータンが提唱する「国民総幸福量」とはGNHと略されるのですが、これは「国民全体の幸福度」を表す指標です。ブータンで初めて提唱された尺度でGNPやGDPなどでは測ることのできない豊かさを測る指標となっています。これは先代のブータン国王が1976年、国民総生産よりも大切な国家理念として提唱しました。経済成

<b>Today</b>	9月25日（第2208回）
担当	藤田隆志 国際奉仕委員長
演題	地区補助金事業報告 国際奉仕委員会
<b>Next Week</b>	10月4日（第2209回）
担当	北島奈穂子 親睦活動委員長
演題	お月見夜間友愛例会 於：ガーデンレストラン徳川園 18:00（10/2例会振替）

長も重要だが、それは自然環境や伝統文化、家族や友人、地域の連携との調和がとれたものでなければならぬとする考え方です。GDP（国内総生産）と比較されることが多いのですが、一般的にはお金や経済の成長と幸福度は正の相関があるとされていますが、物質的・経済的ではなく、精神的な豊かさ、幸福を求めようとする考え方です。ここで、2006年イギリスの大学で国民総幸福量を分析した結果が発表されました。紛争地域を除いた世界178か国を対象としているのですが、1位デンマーク、2位スイス連邦、3位オーストリア共和国、4位アイスランド共和国、5位バハマ国、6位フィンランド共和国、7位スウェーデン王国、8位ブータン王国、9位ブルネイ・ダルサラーム国、10位カナダだそうです。何と、アメリカが23位、中国が82位、日本は90位とのこと。幸福とは何かを考えながらブータンに行つてこようと思います。簡単ですが、以上で会長挨拶にさせていただきます。

## Secretary Report

## 田邊正紀 幹事

- 1 次週9月18日（月）は敬老の日による休会です。次回例会は9月25日です。
- 2 栗木和夫君に第3回MPHFピンが参りました。
- 3 前田重廣君に第6回MPHFピンが参りました。
- 4 藤田隆志君にPHF認証状とピンが参りました。



5 田邊正紀君にPHF認証状とピンが参りました。



中野 智君（名古屋南RC）

名古屋南RCより参りました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

立松絹久 会長

本日は、蟹江町学戸ホテルの会牧田様、卓話よろしくお願い申し上げます。

本日ブータン出発の皆様、よろしく申し上げます。楽しみにしています。

山田尊久 副会長

蟹江学戸ホテルの会、牧田日出男会長、寺西隆雄事務局長、ようこそあまRCへ。

臼井君、家田君、田邊君の職業奉仕、自分の良さが職業に生かされ素晴らしい。あまRCがますます楽しくなりました。

田邊正紀 幹事

蟹江町学戸ホテルの会、牧田日出男さん、本日の卓話、よろしくお願い申し上げます。

ブータン国際奉仕参加の皆様、安全に楽しんで行きましょう。

高山 敏君

最近例会に仕事の都合で欠席が多く、申し訳ありません。

藤田隆志君

本日より地区補助金事業にて、ブータンへ行って参ります。無事を記念して。

伊藤正征君

渡辺君、西川君、お疲れ様でした。先日から始まった秋場所、玉ノ井部屋へ激励。ちゃんこ鍋からはじまり銀座散策。小金井CCラウンド、国技館で柙席観戦と、東京豪華な旅を企画していただき、有り難うございました。

栗木和夫君

母親が、間もなく満90歳。4世代6名で生活。女房に感謝。

大竹敬一君

ブータン頑張ってください。

山田幸治君

町の介護保険の方が、9時半から11時まで色々質問しました。要支援の1でもリハビリの継続が出来ます。

青本道春君

あまRCの帽子が出来ました。ブータンより帰りましたら、皆様にお配りします。

加藤 徹君

昨日の「食の祭典」、蟹江でおもたせ用のパン、白いちじくを使ったシュトレンがお披露目になりました。

蟹江町のパン屋さんでお求め下さい。

大西晃弘君

蟹江町学戸ホタルの会・牧田会長、寺西事務局長、本日の卓話、よろしくお願い申し上げます。

今西邦弘君

本日からブータンへ行かれる方、気を付けて行って下さい。

池崎晴美君

昨日、蟹江町で行われた「食の祭典」の式典で司会をしました。そのご褒美で、観光協会会長の加藤徹君にイチジクのシュトレンをご馳走になりました。有り難うございます。北島君、五平餅販売お疲れ様でした。楽しく美味しいイベントでした。

伊藤英毅君

昨日伊賀の薪能、無事に終わりました。今年はあと3回です。大変な1年です。うまく行きますように。

児玉憲之君

本日の夜行便でブータン王国へ支援に行つて参ります。すごく楽しみにしております。国際奉仕委員会の藤田隆志委員長、よろしくお願い致します。

水谷安紀君

ニコボックスよろしく。

水野 眞君

夏中一杯だった室内プール、昨日今日気が付けば私人泳いでいる。夏は終わりました。秋になりました。

田中正博君

今日から藤田隆志国際奉仕委員長の引率で行つて来ます。なんとか無事に帰つて来れますように。

篠田正志君

かしの木会チャリティーゴルフ大会参加の皆様、有り難うございました。また、西川君、何時も多額の寄付、

感謝申し上げます。

横井久雄君

補助金事業ブータン国、本日出発です。同行の方、よろしくお祈りします。

**合 計 53,000円**

卓 話

「ホタルを通じて実践する地域の環境教育」

蟹江町学戸ホタルの会

会 長 牧田日出男氏

事務局長 寺西隆雄氏

【今までの経緯】

平成19年、加藤建設が、学戸小学校に寄贈した水質浄化ピオトープ施設にてホタルの復元をしませんかと提案。これを受け、住民・学校・行政・企業の協働の場として学戸ホタルの会を立ち上げました。



事務局：蟹江町役場

住民：幼虫の飼育や日常管理 全般

学校：環境学習の場として活用

企業：施設の整備、水質管理など

平成20年、ホタルの施設の整備や勉強会を開催するとともに、蟹江町役場の紹介により、一宮平成ホタルの会に教をこい、幼虫450匹を譲り受けました。その幼虫を学戸小学校の生徒と一緒に放流し、無事に飛翔することができ、鑑賞会も開催する事ができました。この年から、幼虫の飼育がはじまっています。それ以降、ホタルの飼育を続け今年で10年目になります。

### 【主な活動内容】

毎日の状況確認 幼虫の場合：状況確認、えさやり、水温管理、エアーの状況、数量の確認。

放流後の場合：小屋の状況確認、霧吹き作業、飛翔の確認。その他に、エサの確保、放流・鑑賞会などイベント開催、施設の清掃や管理。

主な活動は、幼虫の飼育・施設の維持管理です。なかでも毎日の幼虫の飼育管理が重要です。冬場はあまり活動しませんが、初夏に飛翔後、卵からかえってから秋までが成長のピークなので、毎日エサやり、幼虫の状況確認をしています。特に夏場の水温管理は幼虫の生死に関わるので大変です。実は年々ホタルの数が増え、平成24年には一万匹を超えました。しかし徐々に減ってしまい一昨年は、約2000匹程度まで落ち込んでしまったこともあります。昨年は試行錯誤を繰り返した結果、何とか8000匹近くまで数が増えたのでよかったと感じています。原因はやはり最近の気候変動のせいかもしれませんね。活動での楽しみは、年に一回の放流会と鑑賞会ですね。毎年6月に鑑賞会を開催しています。5月に学戸小学校の子供たちと幼虫を放流するのですが、子供たちと触れ合えるのは何よりの楽しみです。ただ、放流準備や放流後の日々の管理はかなり大変です。なにしろちゃんと成虫になるためには乾燥させない事が重要なので、毎日噴霧器で湿度を保たなければなりません。それでも6月の鑑賞会の時に光り輝くホタルを見る子どもたちの笑顔を見ると、やってよかったと思います。あまロータリークラブ様からは、水道施設一式の寄贈をはじめ物置小屋の設置やホタルの看板修復、浄化施設のポンプ等の交換など、またホタルの会のベストと帽子も作って頂き、本当に温かいご支援を頂いています。今年も10万円のご寄付を頂き、とてもありがたいと感謝しています。

平成22年 水道施設一式

平成25年 物置小屋と看板の修復

平成26年 ベストと帽子

平成27年 取水ポンプ・ブロウの交換

平成28年 清掃用ポンプ・ブロウを寄贈

平成29年 金10万円寄付

### 【表彰等】

お陰様をもちまして、色々なところで反響もあります。愛知県の表彰制度“愛知環境賞”では中日新聞社賞を頂きましたし、COP10の時には学戸小が選ばれイベントでホ

タルについて発表させていただきました。また新聞にもよく取り上げられています。

### 【今後】

皆様の温かいご支援のお陰で、今まで続けてまいりました。これからもホタルを通じて地域の方々の笑顔を作っていくと共に、地域の自然に目を向けていただけるように啓発していきたいと思っております。



ヘイケボタルの幼虫（約15ミリ）とエサのタニシ



ホタルの飛翔状況

### 訂正

先週のウイークリーでニコボックスに間違いがありました。下記の通り訂正いたします。

誤 北澤英一君

正 北野庸夫君

皆様、こんにちは！久々の例会出席です。